

モニター用 DA コンバーターモジュール

DAC-70SD
DA CONVERTER

取扱説明書

必ずお読みください！

ビデオトロン株式会社

この製品を安全にご使用いただくために



誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

1、電源プラグ、コードは

- ・指定された電源電圧(AC100V 50/60Hz)以外では使用しないでください。
- ・AC 電源(室内電源)の容量を超えて機械を接続し長時間使用すると火災の原因になります。
- ・差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。
- ・濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。
- ・抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。
- ・コードは他の機器の電源ケーブルや他のケーブル等からませないでください。
- ・コードの上に重い物を載せないでください。電源がショートし火災の原因になります。
- ・機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にしてからプラグを抜いてください。

2、本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

- ・すぐに電源スイッチを切ってください。ただし、電源回路上、切れない場合があります。その時は電源プラグを正しく抜いてください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザーによる警報音が出た場合にはすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。
- ・上下に設置されている機械の電源スイッチまたはメインのブレーカーを切ってください。
- ・空調設備を確認してください。
- ・しばらく、手や体を触れないでください。ファンの停止が考えられます。設置前にファンの取り付け場所を確認しておきファンが停止していないか確認をしてください。5年に一度はファンの交換をおすすめします。
- ・機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり火災の原因になります。
- ・消火器は必ず1本マシナールームに設置し緊急の場合に取り扱えるようにしてください。
- ・弊社にすぐ連絡ください。

3、機械の近くでは飲食やタバコ、火気を取り扱うことは絶対に行わないでください。

- ・特にタバコ、火気を取り扱うと電気部品に引火し火災の原因になります。
- ・機械の近く、またはマシナールーム等の密閉された室内で可燃性ガスを使用すると引火し火災の原因になります。
- ・コーヒーやアルコール類が電気部品にかかりますと危険です。

4、修理等は、ご自分で勝手に行わないでください。

下記のあやまちにより部品が発火し火災の原因になります。

- ・部品の取り付け方法(極性の逆等)を誤ると危険です。
- ・電源が入っている時に行くと危険です。
- ・規格の異なる部品の交換は危険です。

5、その他

- ・長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。
 - ・重量のある機械は1人で持たないでください。最低2人でかかえてください。腰を痛めるなど、けがのもとになります。
 - ・ファンが回っている時は手でさわらないでください。必ず停止していることを確かめてから行ってください。
 - ・車載して使用する時は確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。
 - ・本体のラックマウントおよびラックの固定はしっかり建物に固定してください。地震などによる災害時危険です。
- また、地震の時は避難の状況によりブレーカーを切るか、火災に結び付かない適切な処置および行動を取ってください。そのためには日頃、防災対策の訓練を行っておいてください。
- ・機械内部に金属や導電性の異物を入れないでください。回路が短絡して火災の原因になります。
 - ・周辺の機材に異常が発生した場合にも本機の電源スイッチを切るか電源プラグを抜いてください。



注意

誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

1、操作卓の上では飲食やタバコは御遠慮ください。

コーヒーなどを操作器内にこぼしスイッチや部品の接触不良になります。

2、機械の持ち運びに注意してください。

落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。

また、足元に落としたりしますと骨折等けがの原因になります。

3、フロッピーディスクやMOディスクを取り扱う製品については

- ・規格に合わないディスクの使用はドライブの故障の原因になります。
- マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。
- ・長期に渡り性能を維持するために月に一回程度クリーニングキットでドライブおよびMOディスクをクリーニングしてください。
 - ・フィルターが付いている製品はフィルターの清掃を行ってください。
- 通風孔がふさがり機械の誤動作および温度上昇による火災の原因になります。
- ・強い磁場にかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データーに影響を及ぼす場合があります。
 - ・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。
 - ・大切なデーターはバックアップを取ることをおすすめします。

●定期的なお手入れをおすすめします。

- ・ほこりや異物等の混入により接触不良や部品の故障が発生します。
- ・お手入れの際は必ず電源を切ってプラグを抜いてから行ってください。
- ・正面パネルから、または通風孔からのほこり、本体、操作器内部の異物等の清掃。
- ・ファンのほこりの清掃
- ・カードエッジコネクタタイプの基板はコネクタの清掃を一ヶ月に一度は行ってください。

また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。

安心してご使用いただくために定期的な(5年に一度)オーバーホール点検をおすすめします。

期間、費用等につきましては弊社までお問い合わせください。

**上記現象以外でも故障かなと思われた場合は弊社にご連絡ください。

☆連絡先.....ビデオトロン株式会社

〒193-0835 東京都八王子市千人町2-17-16

TEL 042-666-6329

FAX 042-666-6330

受付時間 8:30~17:00

E-Mail cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話 042-666-6311

緊急時 ** 090-3230-3507

受付時間 9:00~17:00

**携帯電話の為、通話に障害を起す場合がありますので、あらかじめご了承願います。

..... 目 次

この製品を安全にご使用いただくために.....	I
1. 概 説.....	1
《特 長》.....	1
2. 機能チェックと筐体への取り付け.....	1
1. 構 成.....	1
2. 筐体への取り付け.....	2
3. POWER ON までの手順.....	4
4. 基本動作チェック.....	4
3. 各部の名称と働き.....	5
4. トラブルシューティング.....	6
5. 仕 様.....	7
1. 定 格.....	7
2. 性 能.....	7
6. 外形寸法.....	8

1. 概説

D1シリアルデジタル信号をアナログコンポジット信号へ変換する低価格D/Aコンバーターモジュールです。実装筐体を選ぶことで単体から10モジュールまでシステムに合わせた対応ができます。

《特長》

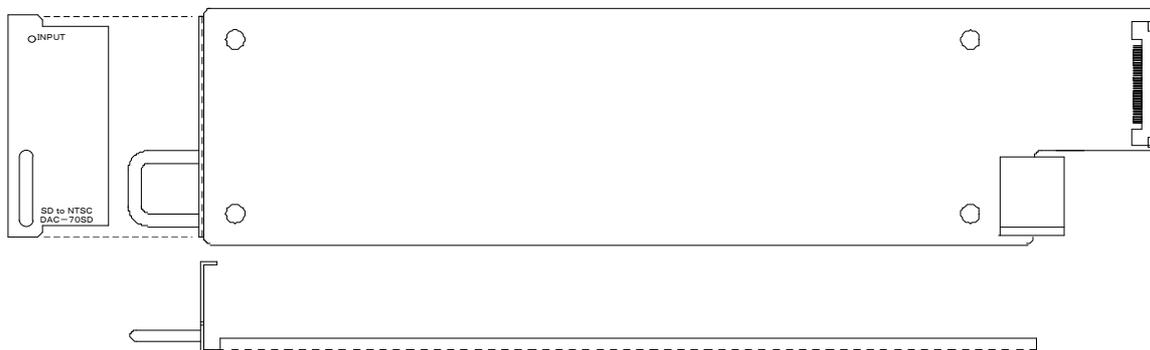
- D1信号ラインに本機を挿入してアナログモニターで確認するときに便利
- D1シリアルデジタル信号1入力をアナログ4出力に変換
- 70シリーズ筐体を使用し2U高さで10chまで、1U高さフルサイズで4ch、1U高さハーフサイズで1chを実装

2. 機能チェックと筐体への取り付け

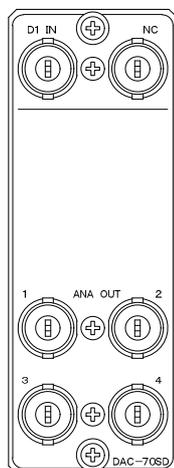
1. 構成

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	DAコンバーターメインモジュール	DAC-70SD	1	
2	コネクタモジュール		1	
3	取扱説明書		1	本書

1. メインモジュール



2. コネクタモジュール



2. 筐体への取り付け

ご使用の際には、コネクタモジュール及びメインモジュールを筐体に取り付けてください。

ここでは1Uハーフ筐体を例にとって説明します。1U、2U筐体でも同様です。

筐体各部の名称などは筐体の取扱説明書をご覧ください。

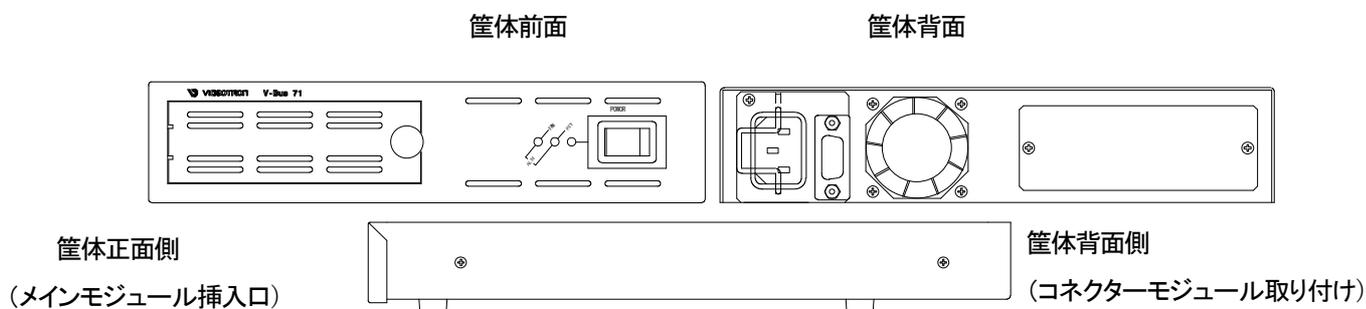


図2-1 1Uハーフ筐体外観図

- (1) 筐体に他のメインモジュールが実装されている場合、メインモジュール、コネクタモジュールの順に取り外します。

メインモジュール交換の際は、必ずメインモジュールを先に外すようにしてください。

コネクタモジュールを先に取り外してしまうと、筐体内部の基板およびメインモジュールが破損する場合があります。

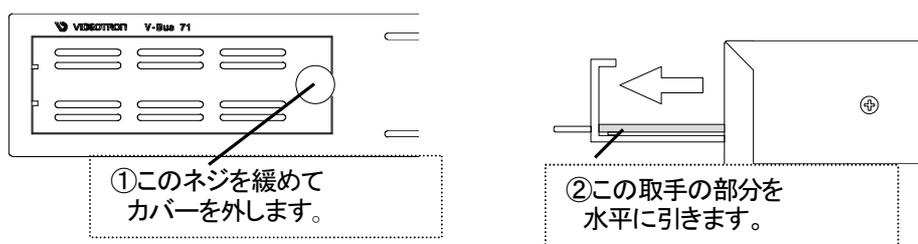


図2-2 メインモジュールの取り外し

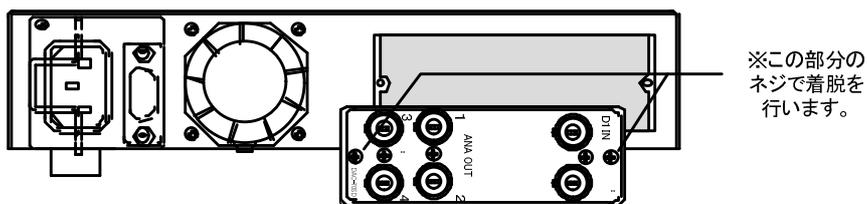
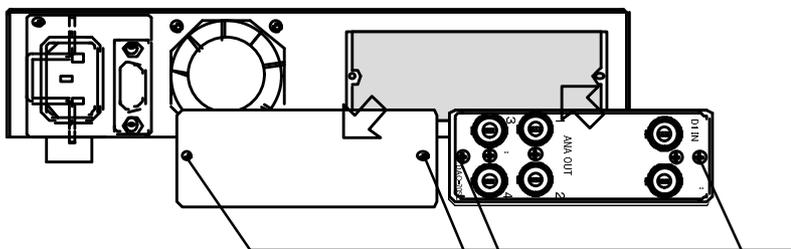


図2-3 コネクタモジュールの取り外し

(2) 背面にコネクタモジュールを確実に取り付けます。

1) コネクタモジュール取り付け部分にカバーがある場合はカバーを外し、コネクタモジュールを取り付けてください。

※メインモジュール取り付けの際はコネクタモジュールから先に取り付けてください。



※この部分のネジで
着脱を行います。

図2-4 コネクタモジュールの着脱

(3) 筐体正面のカバーを外し、筐体内に異物がないことを確認の上、メインモジュールを挿入します。

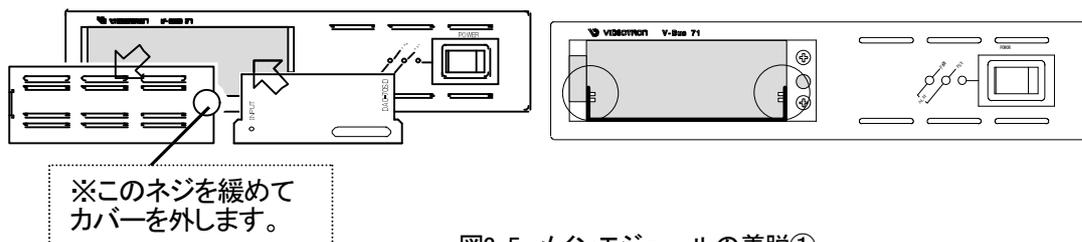


図2-5 メインモジュールの着脱①

1) メインモジュールは筐体内のスリットの間(図2-5丸の部分)に、確実に挿入します。

スリットは筐体内部に多数取り付けられています。メインモジュールが全てのスリットにはまるように、水平に挿入してください。

2) メインモジュールを奥の電源基板およびコネクタモジュールに確実に差し込んでください。

その際、メインモジュールの取手の辺りを押すようにしてください。

外す際は、取手を手前に水平に引いてください。

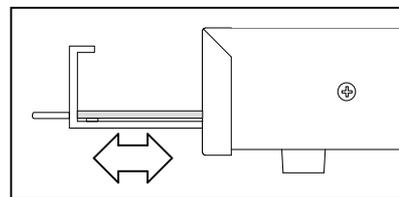


図2-6 メインモジュールの着脱②

(4) 必要に応じて筐体のフロントパネルを取り付けます。

3. POWER ON までの手順

- (1)メインモジュールを筐体へ正しく挿入します。
- (2)筐体の電源プラグをAC100Vのコンセントに接続します。
- (3)D1-INにD1の本線映像信号を入力します
- (4)ANALOG OUTからの出力をモニターに接続します。
- (5)筐体の電源スイッチを投入すると、筐体のパワーランプが点灯します

4. 基本動作チェック

下記の操作で本機が正常に動作していることをチェックします。

正常に動作しない場合はP-6「4. トラブルシューティング」を参照してください。

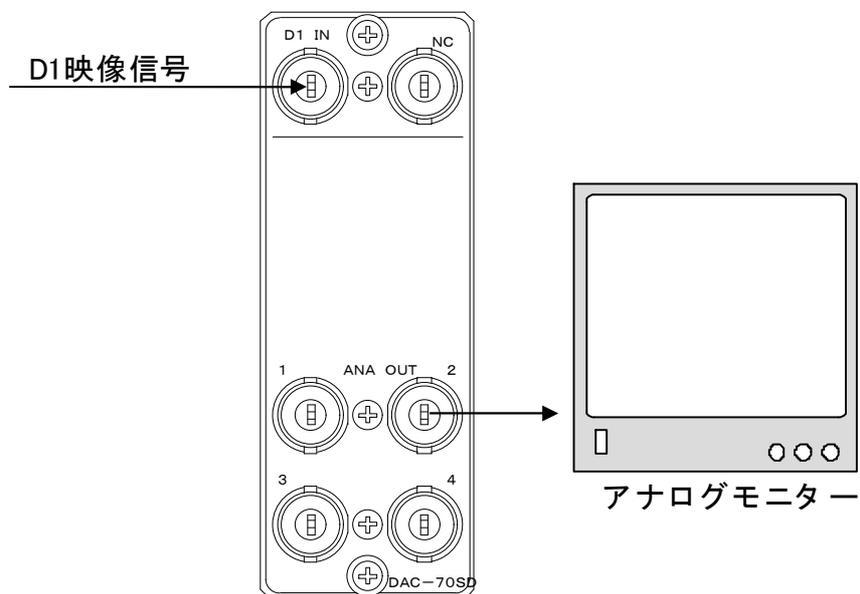
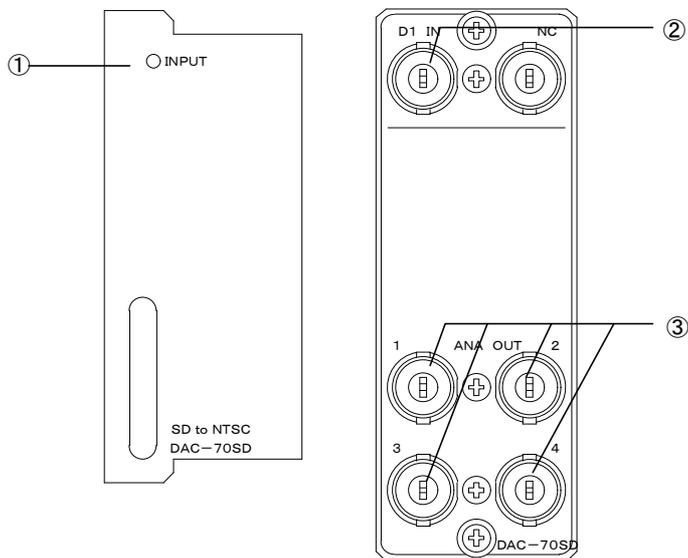


図2-7 基本動作チェック

- (1)D1シリアルデジタル信号をD1-SDI INコネクターに入力します。
- (2)ANALOG OUTコネクターをアナログモニターへ接続します。
- (3)ANALOG OUTコネクター1~4のすべての出力が正常に出力されていることを確認します。

3. 各部の名称と働き

メインモジュール正面 メインモジュール背面(コネクターモジュール)



メインモジュール



図3-1 各部の名称と働き

①INPUT LED

D1 INコネクターにD1-SDI信号が入力されると点灯します。

②D1-SDI IN

D1-SDI信号を入力します。

③ANALOG OUTコネクター

DA変換されたアナログ映像信号が出力されます。

④取手部分

筐体への着脱を行う際はこの部分を持ちます。

⑤筐体接続部分

筐体内部の基板に接続されるコネクターです。

⑥コネクターモジュール接続部分

コネクターモジュールに接続されるコネクターです。

4. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処法です。(文中の→は対処方法を示しています)

筐体のトラブルに関しては、筐体の取扱説明書もあわせてご覧ください。

現象 電源が入らない！

- 原因
- ・筐体の電源ケーブルは接続されていますか？
 - ・筐体の電源スイッチはON側になっていますか？

現象 まったく動作しない！

- 原因
- ・筐体の電源ケーブルは接続されていますか？
 - ・筐体の電源スイッチはON側になっていますか？
 - ・メインモジュール(基板)は正しく挿入されていますか？

現象 映像がまったく表示されない！

- 原因
- ・D1シリアルデジタルの映像信号が正しく接続されていますか？
 - ・入力のD1シリアルデジタル信号は確実ですか？
 - ・出力はアナログモニターに正しく接続されていますか？
 - ・コネクタモジュールはDAC-70SD用ですか？
 - ・入力ケーブルや出力ケーブルは正しく接続されていますか？
- P3 各部の名称と働きを参考にして、コネクタとケーブルが正確に接続されているかご確認ください

現象 映像が正しく表示されない！

- 原因
- ・D1シリアルデジタルの映像信号が正しく入力されていますか？
 - ・出力はアナログモニターに正しく接続されていますか？

お問い合わせは、当社製造技術部までご連絡ください。

5. 仕様

1. 定格

入力信号

・ D1 IN SMPTE259M-C準拠、0.8V_{p-p}/75Ω、BNC 1系統

出力信号

・ ANA OUT 1~4 VBS、1V_{p-p}/75Ω、BNC 各1系統

動作温度 0~40°C

動作湿度 20~80%RH(ただし結露なき事)

消費電力 3.5VA (5V,0.7 A)

2. 性能

入力特性

・ D1 IN

分解能 8bit

サンプリング周波数 13.5MHz

イコライザー特性 300m/5C2V

反射減衰量 5 MHz~270MHz、15 dB以上

出力特性

・ ANA OUT

周波数特性 0.5MHz~4.5MHz±0.5dB

DG ±0.8%以内

DP ±0.5° 以内

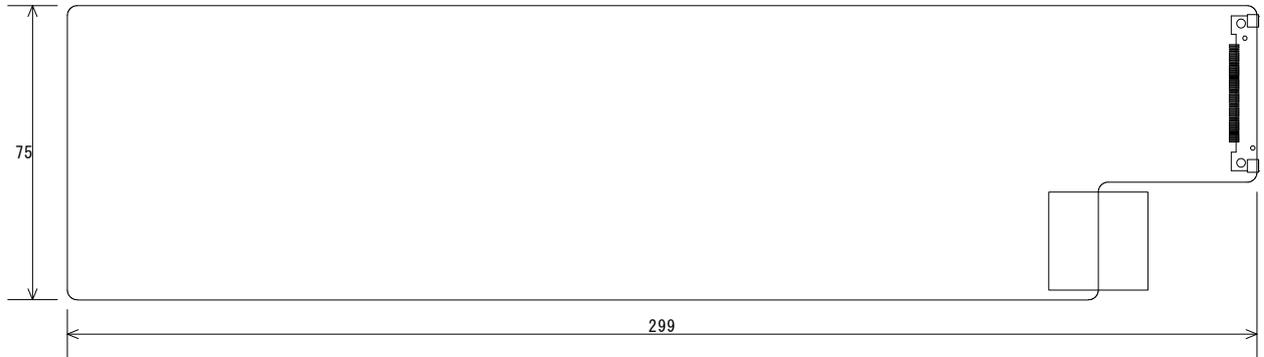
サグ H: 0.1%以内、V: 1%以内

S/N 52dB

6. 外形寸法

◇メインモジュール外形寸法

・299(L)×75(H) mm (コネクタ及びコネクタモジュールを除く)

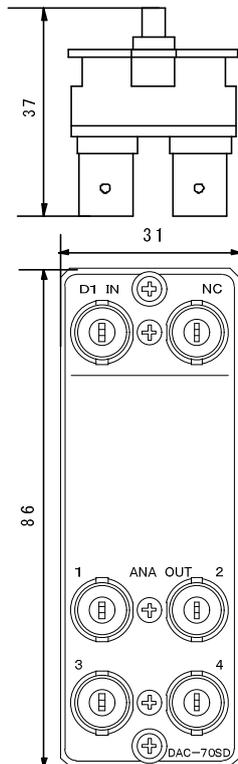


◇実装棚板名／実装可能モジュール数／実装棚板寸法／質量

- ・Vbus-70B 10 434(W)×88(H)×345.1(D) mm 6kg (電源2重化オプション対応)
- ・Vbus-71B 1 200(W)×44(H)×346.1(D) mm 2.5kg
- ・Vbus-74B 4 444(W)×44(H)×345.1(D) mm 5kg

◇コネクタモジュール外形寸法

・31(W)×86(H)×37(D) mm 110g



御使用各位 殿

ビデオトロン株式会社
製造技術部

緊急時の連絡先について

日頃は、当社の製品をご使用賜わりまして誠にありがとうございます。
ご使用中の製品が故障する等の緊急時には、下記へご連絡いただければ適切な処置を取りますので宜しくお願い申し上げます。

記

◎営業日の連絡先

ビデオトロン株式会社

〒193-0835 東京都八王子市千人町2-17-16

TEL 042-666-6329

FAX 042-666-6330

受付時間 8:30~17:00

e-mail cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話 042-666-6311

緊急時 090-3230-3507

受付時間 9:00~17:00

※携帯電話の為、通話に障害を起す場合がありますので、あらかじめご了承願います。

無断転写禁止

- ・このファイルの著作権はビデオロン株式会社にあります。
- ・このファイルに含まれる文書および図版の流用を禁止します。